

越辺川の概要

流域面積: 419.95km²

流路延長: 34.28km

関係市町村: 越生町、毛呂山町、鳩山町、東松山市、坂戸市、川島町、川越市



川の再生まるごとプロジェクト

様式-2

テーマ
～川と古道の歴史・文化に逢える場所 毛呂山～

越辺川

毛呂山町

毛呂山町の中央部・東部を流れる越辺川は古くから農業用水の水源として開発され河川には多くの堰が設けられている。流域には親水公園や湖等が点在し、鎌倉街道や川角古墳群、崇徳寺跡、庚申塔といった古代～中世、近世の史跡や文化財の資源があるが、これらを観光資源として十分に活用できていない。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

- 越辺川は延長3.4km (うち改修済み延長0km)
- 美化活動団体6団体 (うち川の応援団の登録0団体)
- 川の特徴
 - ・鎌倉街道や古墳群、古戦場は観光スポットとなっている。
 - ・沿岸の地区では、「大類花まつり」の様な季節のきれいな草花を育てる運動が盛んである。
 - ・沿川の八幡神社・十社神社は地元の獅子舞といった神事が行われている。
 - ・水辺再生100プランで越辺川(越生町)を整備した箇所がある。

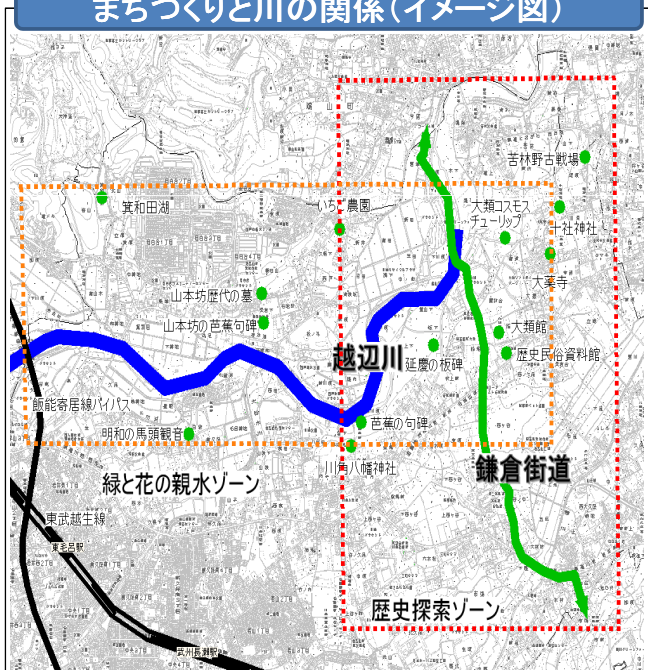
まちづくり等の課題

- 水辺再生100プランで越生大橋まで遊歩道が整備されているが、越辺川で繋がる越生町との連携が無く毛呂山町内の観光資源にも繋がりが無い。
- 手付かずの河川であり、町民の心の拠り所となる水辺と緑の調和した憩いの場が少ない。
- 鎌倉街道を訪れる人も多いが、そこから街中へ巡り歩く観光客は少ない。

(市町村の取組テーマ) 川と古道の歴史・文化に逢える場所 毛呂山

越辺川沿いに点在する歴史的資源や湖等の親水空間を有効に活用するため、それらを遊歩道で繋ぎ、観光・レクリエーション機能の充実を図ります。また、水辺と緑の調和した親水空間の創出により緑とふれあいの文化都市を目指します。

まちづくりと川の関係(イメージ図)



現状と課題への対応

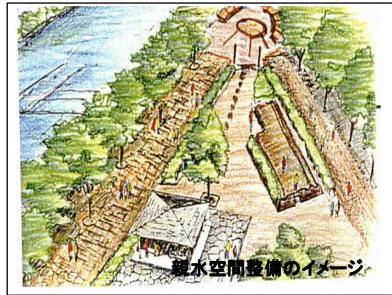
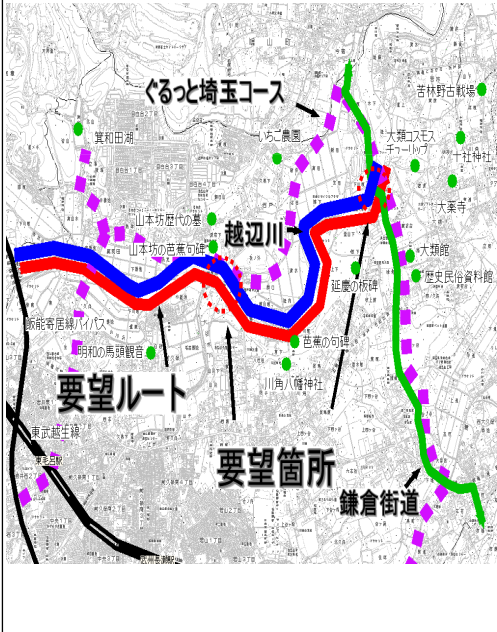
- 川と街を連携させ、つながりを強化。
- 町民の憩いの場となる親水空間の創出により、うらおいのあるまちづくりを目指す。
- 地域の観光テーマを設定した環境整備。

目標・テーマ

- (観光資源のネットワーク化)
 - ・既存スポーツ施設・湖・鎌倉街道・越生大橋上流部(越生町)を遊歩道でつなぐ。
 - ・既存のぐるっと埼玉コースをサイクリングロードでつなぐ。
- (親水空間の創出)
 - ・川を身近に感じられる進入路、遊歩道、休憩所を設置します。
- (観光のテーマづくり)
 - ・越辺川沿いの史跡や文化財の歴史的背景等を紹介し、観光客の興味を引くようなストーリー性を出し、点在する観光資源につながりを持たせる。

毛呂山町は、鎌倉街道や古墳群、湖、更に越生町の遊歩道等が越辺川沿いに点在しています。そこで、観光資源のネットワーク化と川に近づくことを目的とした遊歩道・サイクリングロードの整備をお願いします。また、親水空間の創出に向けた花壇や中世の歴史が楽しく学べる休憩所等も合わせてお願いします。

位置図



実施してほしい取組の概要

- ・観光資源のネットワークづくりとしての遊歩道・サイクリングロード整備。
 - ・親水空間創出に向けた環境整備。
- (具体例)
- ・川に近づくための進入路。
 - ・鎌倉街道の特徴の一つである「渡し跡」をモチーフにした休憩所などの整備。
 - ・季節の草木がきれいな親水空間づくりに向けた花壇づくり。
 - ・既存のぐるっと埼玉コースを新たなサイクリングロードで補完する。

工程表

	H25	H26	H27
遊歩道整備	●	●	●
環境整備	●	●	●

市町村が取組む事業等の概要(川角・大類・苦林地区)

川角・大類・苦林地区では、川角古墳群・鎌倉街道・苦林古戦場等、貴重な歴史資源があります。それらの歴史や文化の魅力が向上するストーリー性のある案内板の設置をします。これまでのモデルコースを見直し、観光客のトレンドに合った新たな散策コースを設定します。

位置図



事業等の概要

ハード

「史跡といにしへの道」等の散策コースを設定し、古代から中世、近世へと続く歴史文化に合わせた案内板を設置します。

(フットパスコース例) 史跡といにしへの道コース

崇徳寺跡→延慶の板碑→川角古墳群→鎌倉街道→歴史民俗資料館→大薬寺・

大類氏館跡→稲荷神社→苦林野合戦供養等→苦林・大類古墳群→十社神社

ソフト

「越辺川に行きたい!」そんな情報を広く、タイミング良く発信出来る様に、HP・もろ丸ブログ・ソーシャルネットワーク等を活用します。

・憩いのスペースの休憩所(渡し跡)にて、鎌倉街道の歴史が分かるイベントを企画します。

工程表

	H25	H26	H27
案内板整備	●	●	●
イベント企画・PR活動			●

箕和田・西戸地区の越辺川周辺は、毛呂山町都市計画マスタープランにて「緑と花の親水ゾーン」に指定されており、町民の草花を植える自発的な活動を支援します。また、駅前レンタサイクルを設置し、街中や越辺川で繋がる越生町への回遊性を高め両町の活性化を目指します。

位置図



事業等の概要

ハード

- ・駅前にレンタサイクルの整備をします。
- ・越生町と相乗効果の出る案内板を設置します。

ソフト

- ・緑・花・川に親しみを持ってもらえるイベントを企画します。



工程表

	H25	H26	H27
イベントの企画・PR活動			●————●
レンタ整備	●————●		

維持管理の実施

地域の資源は地域で守るという観点から、本プロジェクトで整備をした川の維持管理は町が責任を持って地元住民や美化活動団体等と連携して行います。また、持続的・自立的な維持管理を定着させるため、様々なイベントや広報誌等をとおして、情報発信することにより活動に対するモチベーションを維持します。

維持管理の概要

- 維持管理の対象 越辺川
- 維持管理の実施主体 地域自治会・毛呂山町・毛呂山町体育協会・地元NPO団体
- 維持管理の内容 草刈・ゴミ拾い
- 想定される役割分担
 - 地域住民等・・・草刈・ゴミ拾いの実施
 - 市町村・・・ゴミ回収の実施、情報発信
- 役割分担の検討方法
 - 地域住民と毛呂山町で協議をして決定する。

既存の活動

- ・水土里ネットみのわだ湖
 - 活動場所:みのわだ湖畔 内容:美化活動、調査研究
- ・毛呂山ソフトボール協会
 - 活動場所:越辺川沿岸 内容:草刈・ゴミ拾い
- ・沿岸自治会
 - 活動場所:越辺川沿岸 内容:草刈・ゴミ拾い

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

- 維持管理に対するモチベーションを保つため楽しく学んで遊べるイベントを実施します。
- 地域住民の美化活動を持続させるためゴミ回収を支援していきます。
- 地域住民による活動を自立させるため積極的なPR活動を実施します。

維持管理への支援制度

- ・川のサポート制度(県)
 - 概要:美化清掃活動を実施する団体等に対し、ボランティア保険への加入、軍手等の支給を行う。
- ・河川清掃活動補助(町)
 - 概要:自治会等が河川で実施する清掃活動に対し、必要な経費の一部を補助する。

新たな散策コース計画は、河川管理者や観光・まちづくりに関わる地元住民・団体と共に検討します。古代・中世の歴史文化が楽しく学べる企画を発足させるとともに、既存イベントや地元祭りや河川との関係を見直します。

利活用の計画

- 整備した遊歩道を既存イベント(町民レクリエーション、大類花まつり等)に活用します。
- 河川の遊歩道とまちなかの散策路を連携させ新たな散策コースを作成します。
- 計画づくりは毛呂山町が中心となり自治会や歴史民俗資料館とともに検討します。
- 水辺再生100プランにて整備済区間(越生大橋上流部)のある越生町とも連携を図り、新たな観光プランを構築します。
- 再生した川やまちにより訪れた方がふれあいを感じる元気なもろやまを目指します。
- 迎え入れる町民の「毛呂山もてなしの心」を育てます。
- 越辺川の水質を維持します。



利活用の実施

- 鎌倉街道の歴史を楽しく学び実感できるイベントを歴史民俗資料館と企画します。
- 川角・大類地区の秋季大祭と合わせた企画を実施します。
- 越生町と連携した企画を実施します。
- 遊歩道・サイクリングロードを町民レクリエーション、大類花まつりで活用します。
- 毛呂山町では、越辺川の水質維持のため河川の監視を強化すると共に、維持に向けた啓発指導を実施していきます。

既存のイベント

- ・大類花まつり
(主催者:大類ボランティア、内容:花鑑賞、会場:大類グラウンド(東側))
- ・秋季大祭
(主催者:川角獅子舞保存会、内容:獅子舞、会場:川角八幡神社)
- ・秋季祭
(主催者:大類十社神社獅子舞保存会、内容:獅子舞、会場:十社神社)
- ・町民レクリエーション
(主催者:毛呂山町、内容:運動会、会場:大類グラウンド)
- ・みのわだ湖まつり
(主催者:水土里ネットみのわだ湖、内容:産地産直、会場:親水公園)

取組全体のアピールポイント

毛呂山町の歴史と文化

中世の板碑や鎌倉街道など数多くの史跡が残る毛呂山先人の息吹にふれてみませんか

- 毛呂山町では、河川沿岸を「水と緑の軸」として位置づけ、自然環境に配慮したうるおいと安らぎの空間づくりを目指しています。
- 本事業は毛呂山町の文化的価値の高い建造物等を再確認すると共に、豊富な自然を守り伝えていくきっかけになります。また、町内外の観光施設がネットワーク化され、観光客が一日かけて越生町・毛呂山町の観光地を巡り楽しみ、ここで食事をする人や土産品を購入する人が多くなり、両町の更なる活性化に繋がります。
- 町民のまちを愛し守り伝えていく熱意は、どこの市町村にも劣らないと思います。

- 町民の熱意の高さに加え、毎年コンスタントに集客できるイベントもあり、埼玉県の皆様と共にこの機会に「鎌倉の歴史・文化に逢える場所 毛呂山」を必ず実現したいと思えます。

～清らかな水が流れ、
人々が憩い、親しむ越辺川～

越辺川

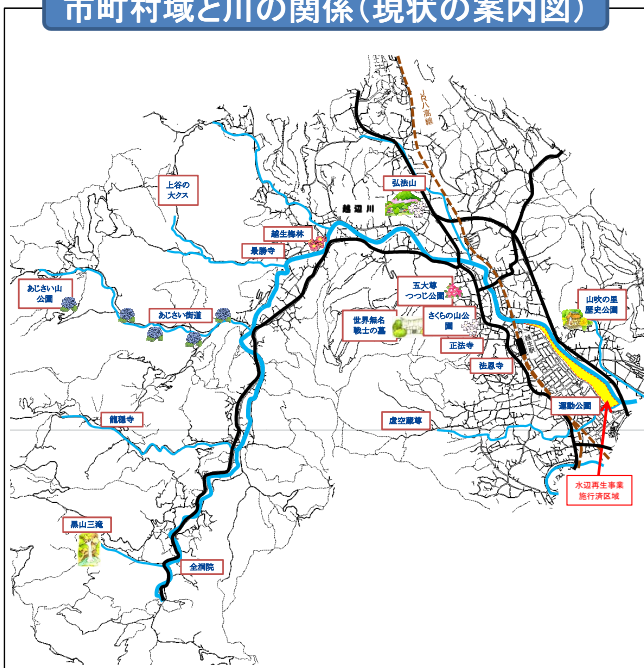
越 生 町

川とまちの現状把握

様式-3

越生町は、町の中心部を流れる越辺川の流域に、黒山三滝、越生梅林をはじめ、神社・仏閣等の歴史的観光スポットが多く点在しており、首都圏における貴重な観光の町となっている。一方で越辺川は、人々が安心して水に触れて遊べる場が少なく貴重な水辺空間は十分に活用されていない。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

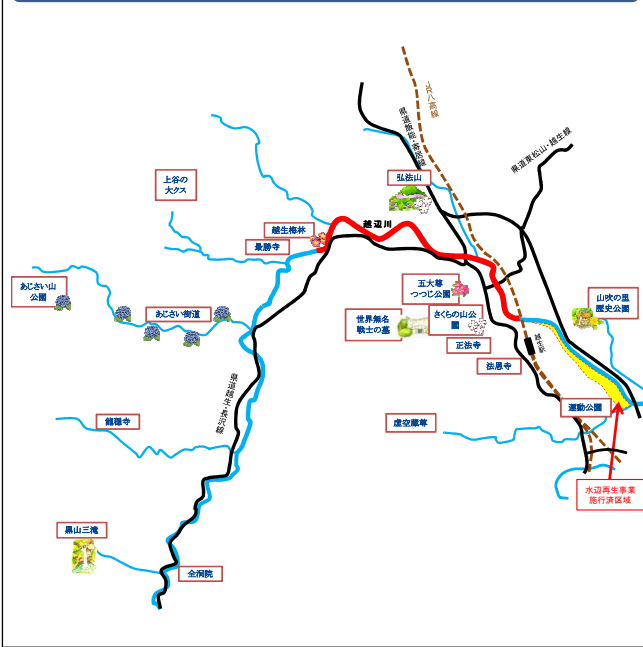
- 越辺川は延長約10km
(うち改修延長1.2km)
- 美化活動団体
・自治会、観光協会、コミュニティ協議会、地域住民等
- 川の特徴
・越辺川の中上流部には、支川も多く良好な溪流の景観を呈している。
・下流部には、さくらの山公園、山吹の里歴史公園、運動公園等が整備されている。

まちづくり等の課題

- 越辺川に流入する一部の小河川には、生活雑排水が放流され水質が悪化している。
- 近隣に大型店ができ、廃業などによる空き店舗が増え、商店街の活気が失われつつある。
- 四季を通じて観光客は多いものの、川を訪れる観光客は少ない。

景観に優れた川辺や四季折々の観光資源を活用するため、町の中心を流れる越辺川に遊歩道を整備し、点在する観光資源を線で結ぶことにより、見る・遊ぶ・親しむなどの憩いの場を創出します。また、上流部ならではの清流を生かした河川整備とまちの整備の連携を図り、新たな観光スポットを創設し、観光客の増加を目指します。

まちづくりと川の関係(イメージ図)



現状と課題への対応

- 点在する観光地を結ぶため、遊歩道の整備を行う。
- 自然と景観を生かすための親水護岸の整備を行う。
- 清らかな水の流れを確保するため、合併浄化槽の適正な維持管理の啓発を行う。
- 商業振興を図るため、観光資源を生かした観光客の増加を目指す。

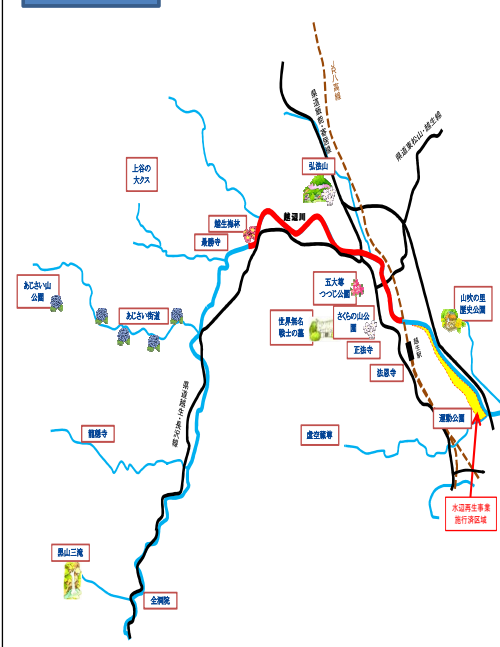
目標・テーマ

- (観光資源の連結)
 - ・既存の観光資源をネットワーク化することで、新たな憩いの場を実現する。
- (親水空間の創出)
 - ・川を身近に感じられる河川整備を行い、親しみの場を実現する。
- (水質の保全)
 - ・適正な合併浄化槽の維持管理を行い、水質の保全を図る。
- (商業の振興)
 - ・観光振興との連携により、商業の活性化を図る。

県に実施してほしい取組

越生町では、日本観光百選に選ばれた「黒山三滝」や関東三大梅林の一つに数えられる「越生梅林」、太田道灌ゆかりの地「山吹の里歴史公園」など、越辺川周辺に観光資源が多く存在しています。そこで、すでに川の再生100プランを実施しているが、その上流から越生梅林周辺の親水護岸整備、遊歩道を引き続き整備することにより、より多くの観光客が訪れます。

位置図



実施してほしい取組の概要

- ハード
- ・JR八高線鉄橋から越生梅林までの親水護岸の整備と遊歩道の設置
 - ・河川敷に繁茂した葦の除去



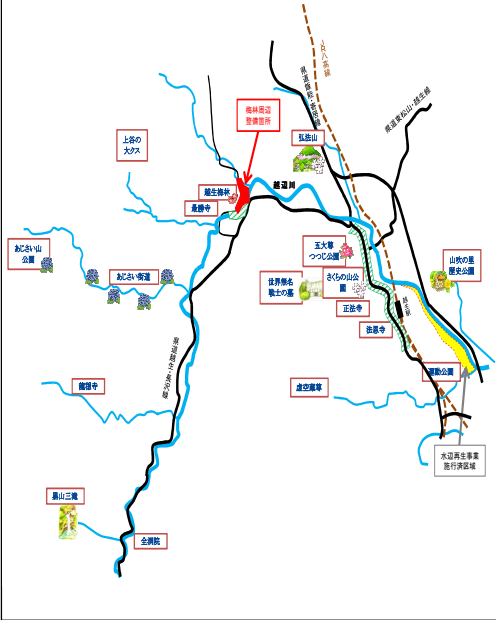
工程表

	H25	H26	H27
親水護岸整備	●————●	●————●	
遊歩道整備		●————●	●————●

市町村が取り組む事業等の概要(越生梅林周辺地域) 様式一6

越生町では、「観光拠点の再整備」として、平成23年から平成27年の5年間で越生梅林周辺の道路整備、駐車場整備等のハード事業や観光客の集客のためソフト事業を行い、町内複数の観光資源を最大限に活かした観光のまちづくりを進めています。

位置図



事業等の概要

ハード

- ・観光バスが通過できる道路整備を行います。
- ・町全体の観光スポットとなる駐車場の整備を行います。
- ・梅園橋に歩道橋を設置します。

ソフト

- ・外国人旅行客誘致のための、外国人向けパンフレット・ガイドマップの作成をします。

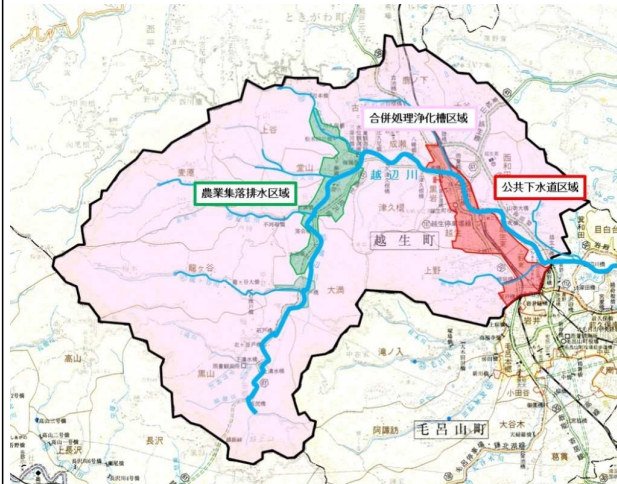
工程表

	H25	H26	H27
道路整備	→		
駐車場整備	→		

市町村が取り組む事業等の概要(町内全域) 様式一6

越生町は、越辺川の源流の町として清流を保全するため、上流域の梅園地区を中心として農業集落排水事業を行っており、すべて供用開始となっています。また、これ以外の地域についても、合併処理浄化槽の設置を推進するなど、清流を次世代と下流域に引き継ぐまちづくりを進めています。

位置図



事業等の概要

ハード

- ・町管理型の合併処理浄化槽の設置を推進します。
- ・公共下水道は現整備区域170.2ha有り、今年度100%整備済となります。

ソフト

- ・合併処理浄化槽維持管理と啓発活動を行います。



工程表

	H25	H26	H27
合併浄化槽設置	→		
合併浄化槽維持管理	→		

地域の資源は地域で守るという観点から、本事業で整備した川の維持管理は町が責任をもって地域住民や美化活動団体等と連携して実施します。また、持続的・自立的維持管理を定着させるため、「地域づくり」発表会や広報紙、HPで活動のPRをすることで、活動に対するモチベーションを維持します。

維持管理の概要

- 維持管理の対象 越辺川
- 維持管理の実施主体 地域自治会、越生町観光協会、コミュニティ協議会
- 維持管理の内容 草刈・ゴミ拾い
- 想定される役割分担
地域住民等・・・草刈・ゴミ拾いの実施
市町村・・・ゴミの回収・情報発信
- 役割分担の検討方法
検討委員会を設置し、整備計画と維持管理を併せて協議決定する。

既存の活動

- ・各自治会
活動場所：町内の河川全域
内 容：草刈・ゴミ拾い



持続的・自立的な維持管理に向けた取組

- 維持管理に対するモチベーションを保つため川に親しむイベントを実施します。
- 地域住民の美化活動を持続させるため、各団体の活動状況を定期的に広報紙等で紹介します。
- 地域住民が主体となるような取組、町民と行政が協働によりまちづくりを推進します。

維持管理への支援制度

- ・川の国応援団制度(県)
概要：美化清掃活動を実施する団体等に対し、ボランティア保険への加入、軍手等の支給を行う。
- ・河川清掃活動補助
概要：各自治会等が河川で実施する清掃活動に対し、必要な経費の一部を補助する。

再生した川やまちの利活用に向けた取組

再生した川やまちを利用する計画を、地域住民、観光・まちづくりに関わる団体とともに検討をします。また、毛呂山町・越生町が越辺川の遊歩道によりつながり「川・まち」をつかった新たなイベントを実施します。

利活用の計画

- 整備した遊歩道はヘルスロードの推奨コースや、イベントに活用します。
- 観光資源と遊歩道を連携させ新たな散策コースを作ります。
- 整備された親水空間は、子供から大人まで親しめる場所として活用します。
- 越辺川沿いに整備した遊歩道は、水辺再生100プランの上下流に位置するため、毛呂山町・越生町共同による新たな事業展開を模索します。



利活用の実施

- 親水空間を楽しみながら健康づくりの遊歩道として活用します。
- ハイキング大会、ウォーキング大会のコースに取り入れます。
- 川を利用したイベント(魚の放流、つかみ取り等)を行います。
- 毛呂山町と連携した企画を実施します。

既存のイベント

- ・武蔵越生七福神めぐりハイキング
(主催者：東武鉄道、内容：七福神めぐり、会場：町内)
- ・梅まつり
(主催者：観光協会、内容：観梅、会場：越生梅林)
- ・花の里健康づくりウォーキング大会
(主催者：実行委員会、内容：ウォーキング、会場：町内)
- ・越生まつり
(主催者：実行委員会、内容：山車・花火、会場：中央公民)
- ・獅子舞4地区
(主催者：津久根・麦原・小杉・上野地区、内容：獅子舞、会場：各神社)
- ・その他 あじさい祭り、武蔵越生ハイキング大会、虚空蔵尊だるま市、梅フェア、ゆずフェア

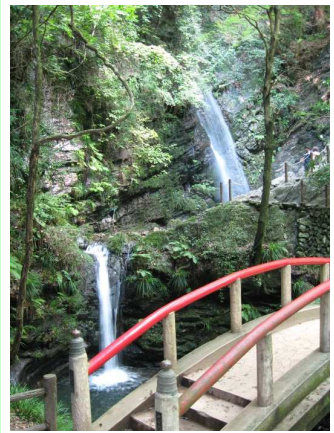
- 越生町では自然を愛で、やさしさと、うるおいのあるまちづくりを、町民と協働で創る事を目指しています。
- 本事業は、越生町の既存の観光資源をネットワーク化し有効活用することで、観光の振興と新たな憩いの場を実現することに繋がります。また、親水空間の整備により、川への愛着が深まるとともに、「川の国埼玉」の実現に向け、町民の意識が高まります。
- 越辺川を通じて、隣接する毛呂山町との連携を図ることにより、更なる観光の発展と、両町の活性化に繋がります。
- 清流、自然、イベント、町民の熱意など、まちづくりの材料は整っており、



県の皆様と共に
～清らかな水が流れ、人々が憩い、
親しむ越辺川～
を実現したいと考えています。

越生まつり

越生梅林梅まつり風景



黒山三滝

